



奈良県初の公営ガソリンスタンド「かわかみサービスステーション」誕生 ～過疎地のSS維持の先駆的取組みとして注目を集める～

■総務省の支援事業にも採択された先駆的取組み

奈良県南東部に位置する人口約 1,300 人の山村「川上村」。この村で井上英昭氏夫妻が 50 年以上営業してきた村内唯一のガソリンスタンド（サービスステーション、以下 SS）が、体方面等の事情から継続が難しくなり、昨年 7 月、同氏が村に廃業を申し出た。

最寄りの SS まで 10km 以上離れており、冬場の燃料確保など村民の生活を守る上でも SS 存続が不可欠と考えた村では、至急対応を協議。結果、村が井上氏から SS の設備一式を無償で譲り受け、運営は村内で買い物支援事業などに取り組む「一般社団法人かわかみらいふ」が担うというスキームの、“奈良県初の公営 SS” が今年 4 月に誕生した。

この SS 事業継承に向けた一連の検討事業は、総務省の「平成 28 年度 過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業」にも採択され交付金を獲得するなど、全国各地の過疎地で大きな課題である SS 維持の先駆的な取組みとして注目を集めている。

■かわかみサービスステーションの概要と特長

今回設置された「かわかみサービスステーション」の概要と特長は以下の通り。

| | |
|---------|---|
| 名 称 | 伊藤忠エネクス特約店 かわかみサービスステーション |
| 所 在 地 | 奈良県吉野郡川上村大字人知 490 番地 |
| 運営開始日 | 平成 29 年 4 月 3 日（月） |
| 運営管理者 | 一般社団法人かわかみらいふ、（村、商工会、社会福祉協議会、区長会、民間企業が連携して運営する法人） |
| 検討方式 | 「かわかみサービスステーション事業検討協議会」による事業検討 |
| 協議会メンバー | 川上村区長会、川上村、川上村商工会、奈良県、奈良県石油協同組合・奈良県石油商業組合、㈱富永製作所、伊藤忠エネクス㈱、㈱丸井商會、一般社団法人かわかみらいふ |

①奈良県初の公営 SS

住民主体の「一般社団法人かわかみらいふ」が

運営。給油や灯油の配達とともに、声かけや見守りを行うなど福祉機能も持たせた、他の地域にはない“川上村らしい SS”を目指す。

②全国初の協議会方式での SS 運営検討

村民、行政、民間事業者、業界団体が集まり経営方法を検討。協議会での議論には時間も労力もかかったが、村民を含む関係者皆が納得できる結論を導くために同村では労力を惜しかなかった。

③村民限定のサービスを実施

村民限定の「現金カード」（村民割引あり）や口座引落可能な「掛けカード」など、村民が利用しやすい仕組みを導入し域内の資金循環を図る。

④村民とともに事業継続を目指す

SS が無くなれば村外へ流出するはずだったお金を村内で回すことができ、SS での新たな雇用も生まれ、村内の商工業が活性化される。

■三方よして持続可能な経営を目指す

今回の SS 実現に尽力した、同村定住促進課課長補佐でかわかみらいふ事務局長も兼ねる竹内満春氏は、「村民・事業者・行政の全てが win-win-win の“三方よし”の関係となりしっかり儲けることで、持続可能な事業モデルを構築したい」と語り、SS だけでなく今後のかわかみらいふの更なる事業拡張にも意欲を見せる。

（吉村謙一）



「かわかみサービスステーション」開所式の様子